



## 「あいち環境塾SHINKA! 持続可能な人材育成に向けて」 ～卒業後の行動を活発にするために～ ESDチームからのESD宣言

グループ名：ESD

メンバー：金田 祐真、近藤 みゆき、永田 裕寿、藁科 亮

チューター：大川 秀樹、九里 徳泰、栗本 宗明、早川 敦子

### 現状の把握

#### あいち環境塾の教育評価

トビリシ勧告の5項(認識・知識・態度・技能・参加)を指標として評価

- 認識・知識は目標を達成
- 態度は過半数以上は達成
- 技能・参加の教育効果は限定的

(出展:「社会人向け環境リーダー育成事業「あいち環境塾」の教育評価」  
(2014年,九里ら)

あいち環境塾は環境教育効果に優れている先駆的な素晴らしい事業であるといえる。より効果的な事業とするためには、卒業後に多くの卒業生に行動してもらうことである。その他に事業を継続するために、入塾希望者を確保し続けることも重要である。

### 2030年に向けての提言の概要

#### 「場」的(あいち環境塾)

- 多様な入塾希望者
- 持続的に人材を育成
- 主体的に行動できる人材の育成

#### 「人」的(リーダー)

- 地域の住民や企業、行政の人的ネットワークの充実
- あいち環境塾は卒業してからがスタート



あいち県がグローバル化する

環境リーダー育成の『あいちモデル』を世界に発信

### 提案の内容

#### ～3つのSHINKA～

##### グローバル化のSHINKA

あいち県内外での環境活動の活性化

##### リーダーのSHINKA

「人」  
リーダーによるリーダーの育成  
地域づくりのリーダーの育成

##### 教育の場のSHINKA

「場」  
人的ネットワークの構築  
持続可能な人材育成とその環境整備

このSHINKAとは、「進化」「新化」「深化」である。より良いあいち環境塾となるためには、教育の「場」をよりSHINKAさせ、塾生である「人」がより行動するようSHINKAさせ、さらに愛知県が「グローバル化」へSHINKAすることである。

進化・新化・深化

### 提案実現のための具体的な取り組み(アクションプラン)と実現可能性

#### ①入塾希望者の確保

- これまでの参加者とは違った立場の人材(学生・教諭)を勧誘
- 卒業生を活用した広報活動

#### ②カリキュラムの提案

- 主体的に授業に取り組める内容を増やす
- 卒業後の行動をイメージさせる

#### ③卒業後の行動の促進

- 所属組織を巻き込む
- あいち環境塾を研修の場のひとつとして普及させる
- 参加者の組織への見学会
- 積極的なAKJ環境総合研究所への参加

### 波及効果

#### ①入塾希望者の確保

- 入塾希望者の増加が見込める



#### ②カリキュラムの提案

- 卒業後の行動のイメージが付きやすい
- 卒業後に主体的な行動をより取れるようになる

#### ③卒業後の行動の促進

- 業務と結びつく理解が得られやすい
- 組織外で教育ができる
- 組織同士のコラボレーションが見込める
- 組織としての社会貢献ができ、イメージアップにつながる
- 地域の住民や企業、行政の人的ネットワークが充実する

